

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
達いてエ

雜誌編文

No. 698

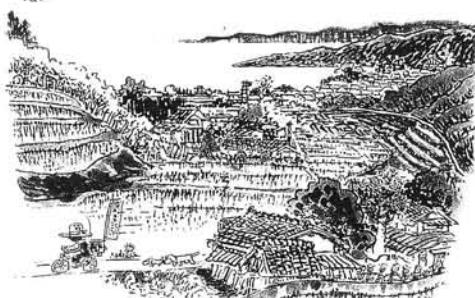
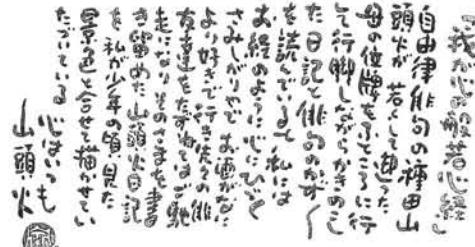
2025年3月刊

モ・ク・ジ

- 日本を目指す人の流れ・留学生 2
 - 「スピノザの診察室」ほか 5
 - ち便りから 9
 - 飯田線で湯谷温泉 22
 - 東京地裁傍聴記② 26
 - け・り・じ・ば・ん 11

いろいふ考え方があまかで 面白い
いろんな人がいるから 楽しい

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359
T&F 043-291-2917



トランプ
習近平 プーチン

トライアングルには

ヨーロッパ、カナダ

インドなどと結束して

立ち向かうべき

ではないか。

泉ゆきを『じはいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

メール配信をご希望の方は、
<suzukikosei.san@gmail.com>へ。
三宅伊都子さんが
応対してくださいます。

題字 故佐村隆英和尚 (卒業県長柄町本光寺住職)
力ツト 故泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は古いものには

2月9日(日)、晴。8時の朝食後、正士さんちへ。

いつも寝泊まりする田畠の間で面会。へやには、1升瓶4合瓶が林立している。久米さん竹中さんが手伝って整理した梅ジュースの名残りだという。これぞお別れの(貰つてもらつた)したという。この期に及んでこの几帳面さにおどろく。

直近の状況については前号26ページに記したが、お母さんはめぐちゃん(看護師)の務める病院に入り、茶園は「元気里山」のグループが引き受けることになったそうだ。あとは、できるだけ永く正士さんに生きていで欲しい。

袋井の「富一」どうなぎを食べ、掛川駅まで送つてもらつ。残金180円は雑収会計へ、山崎さんありがとう。車で案内してくれた若林さん、そして久米さん竹中さん、お世話になりました。